

東京音楽大学
教職課程管弦楽・吹奏楽
50年の歩み

令和4年度(2022年)

目次

1. 教職課程管弦楽・吹奏楽授業発足 50 周年に寄せて -----	3
教職課程管弦楽・吹奏楽担当 加納明洋	
2. 教職課程管弦楽・吹奏楽開講 50 周年を考える -----	3
教職課程管弦楽担当 横山俊朗	
3. 教職課程管弦楽・吹奏楽授業発足 50 周年記念冊子発刊に寄せて -----	4
東京音楽大学 理事長 丸山恵一郎	
4. 祝 授業発足 50 周年記念 -----	4
東京音楽大学後援会 会長 神戸道子	
5. 50 周年に寄せて -----	4
教職課程主任 和田崇	
6. 教職課程管弦楽・吹奏楽の 50 年の沿革 -----	5
低音金管担当 大澤和幸	
7. 教職課程管弦楽・吹奏楽の半世紀 -----	6
前講座責任者 野口芳久	
8. 卒業生インタビュー① -----	7
横須賀市立武山中学校教諭 清水芳絵(旧姓島崎)	
9. 卒業生インタビュー② -----	8
つくばみらい市立富士見ヶ丘小学校教諭 大島絵里加	
10. 卒業生インタビュー③ -----	10
埼玉県三芳町立三芳東中学校教諭 卯木奈津美	
11. 卒業生インタビュー④ -----	12
千葉県立八街高等学校教諭 山本孝	
12. 歴代指導教員名簿 -----	13
13. 演奏会の記録 -----	15
14. 夏期強化合宿の記録 -----	29

教職課程管弦楽・吹奏楽授業発足 50 周年に寄せて

教職課程管弦楽・吹奏楽担当
加納明洋

今年で教職課程管弦楽・吹奏楽は授業発足 50 周年を迎えることになりました。この間、数々の先生方がこの授業に携わり、この授業を履修した数多くの卒業生が小学校・中学校・高等学校で教壇に立っており、課外活動においても顧問として活躍しております。

当授業の特色は、管弦楽・吹奏楽を通して教員（指導者）として必要な能力を身につけることにあります。更に、ここ数年の学習指導要領の劇的变化に伴い、当授業も本年度から「基礎合奏」を下地として、分かりやすく効果的な「教え方」を学べるような学習プログラム「音による表現能力」と「言葉による表現能力」の強化に取り組み始めています。

当授業に携わる総勢 19 名の教師陣が一丸となって、コロナ禍に負けることなく授業に邁進し、50 年の年輪をさらに積み上げていく重みを感じながら、教育界の新たなニーズにも応えるべく、柔軟な発想を基に、明日に向かってよりアクティブで創造的な授業を目指して日々努力を重ねてまいる所存です。

尚、この場をお借りいたしまして、当授業発足 50 周年記念冊子に寄稿文をお寄せいただいた丸山恵一郎理事長、そして神戸道子後援会長、さらに教職課程主任教授の和田崇先生をはじめとして、インタビューにお答えいただいた卒業生の皆様方に改めて感謝申し上げます。

教職課程管弦楽・吹奏楽開講 50 周年を考える

教職課程管弦楽担当
横山俊朗

半世紀前にこのオーケストラは生まれましたが、当時の志は今も変わらず受け継がれていると思います。

ただ、色々な環境や条件が変化し、現代社会の中で役に立つ内容を考え変化していくことも必要だと考えます。

スポーツの世界でも、昔は根性論が全面にあった時代から、スポーツを科学する時代に変革してきました。音楽の世界や、その指導の世界も変わるべきだと考えます。昔、自分が習った事を、そのまま学生に指導して良いのでしょうか？習った事が本当に正しいことなのでしょうか？これらを検証するシステムが無いのが現実です。

今後、教職課程管弦楽・吹奏楽は、それらの問題にも踏み込み発展させて行きたいです。

教職課程管弦楽・吹奏楽授業発足 50 周年記念冊子発刊に寄せて

東京音楽大学理事長
丸山恵一郎

発足より 50 年の月日がたった教職課程管弦楽・吹奏楽は、その学びの進化を止めず、今日まで歩み続けています。履修学生が専攻以外の楽器を初心者立場になって基礎から学び、アンサンブル・合奏を通じて一つの音楽を創りあげると同時に、演奏会等の運営法や団体指導法を体得することで、教員・指導者として必要な能力の修得を目指すこの科目は、他大学に類を見ない授業であり、実際に教育現場に立った時に自信をもって指導する力を身に付けることが出来ます。

学生諸君が本授業より得た「教え」を昇華し、第 50 回記念定期・修了演奏会で素晴らしい演奏を届け、新たなる 50 年に向けて歩みを進めてくれることを期待しています。

祝 授業発足 50 周年記念

東京音楽大学後援会 会長
神戸道子

教職課程管弦楽・吹奏楽授業発足 50 周年、後援会を代表して心よりお祝い申し上げます。この大きな節目を迎えられましたのは、ひとえにご指導にあたる先生方、生徒のみなさんの努力と情熱の賜物と拝察いたします。無観客開催となった昨年度の演奏会を取材に伺い、後援会会報へ掲載させていただきました。厳しい状況の中、感染対策のため制約された授業においても、良い音楽を創り上げる努力を続けてこられたことに、保護者の一人として感銘を覚えました。後援会では、夏期強化合宿の費用の一部を支援させていただいております。また再び合宿が行われる日が来ることを願いつつ、今後も活動を応援し、見守っていきたく存じます。

50 周年に寄せて

教職課程主任
和田崇

教職管弦楽・吹奏楽の 50 年の歴史の中で、本当に様々なご苦労があったことと思います。特にこの 3 年間はコロナ感染対策のため、実技の授業でありながら遠隔授業を余儀なくされたり、恒例の合宿が中止になったりと今までにはなかった工夫が必要となりました。しかし、担当教員の先生方のご努力により今までと遜色のない授業が実施されたことに対し主任として感謝申し上げます。

さて、この 2 年間、教職管弦楽・吹奏楽の授業の目的は何かについて私も含め、担当教員と話し合いを重ねてきました。そこでは、従前の楽器演奏の技術の習得に加え、教える技術の修得、部活動の運営方法理解、部員をまとめる能力の育成、等々新たな課題が示されました。この課題は今後の授業の方向性を決定する大変重要な事項です。是非これらの課題解決に正面から取り組んでください。来年度からの教職管弦楽・吹奏楽の発展に大いに期待するところです。

教職課程管弦楽・吹奏楽の 50 年の沿革

低音金管担当
大澤和幸

本授業は 1973 年 4 月音楽教育専攻 3,4 年を対象として、当時主任教授の勝田栄三郎先生の熱意と野本良平理事長の多大なるご理解（講座開設や楽器購入等）のもと開講され、現在まで発展・継続しているもので、他の音楽大学には無い講座として歴史と特色のある授業です。

発足当初は現在のように各楽器に指導者がいるわけではなく、指揮者に守谷宏先生が管弦楽を、付属高校教諭の小川秀樹先生が吹奏楽を担当され、勝田先生の他に数名の先生方と当時まだ学生だった私大澤和幸と谷田部敬一氏（元付属高校教諭）が金管と打楽器の指導スタッフとして参加し開始されました。その後、野口芳久先生が 46 年間、小川先生の退職に伴い、主に吹奏楽担当で田代俊文先生が 36 年間指導に関わって頂きました。更に加納明洋先生は 2006 年から、河上隆介先生は 2019 年から担当しており、これまでに 100 名を超える多くの楽器の先生方が、それまでの伝統を引き継ぎながら担当されています。

1975 年から 20 年間、長野県にあった東京音楽大学野尻湖寮や軽井沢寮にて「夏期強化合宿」が開始されて以来途切れる事なく行われていましたが、寮の閉鎖に伴い、1995 年からは外部施設となる長野県志賀高原の「ホテルジャパン志賀」で 7 年間、「国立オリンピック記念青少年総合センター」の 3 年間を経て、2005 年から新潟県妙高高原の「ホテルアルペンブリック」で 8 年間実施され、この間に地元の中学校や小学校での「訪問演奏会」が実現することができました。教育現場をお借りして実施される演奏会は、学生達にとっては子供達とのふれあいの場が持てる事にあり、活動の大きな発展でした。

1984 年「教育科管弦楽・吹奏楽」から「教職管弦楽・教職吹奏楽」に講座名が変更となり、音楽教育専攻の学生以外でも本授業を受けられるようになり授業体制変更の大きな節目となります。

1994 年には新校舎 J 館が完成し、音響の良い J 館スタジオにて演奏会を開催となります。

更に 1995 年には講座名が「教職課程管弦楽」「教職課程吹奏楽」となり、音楽教育専攻以外の声楽、ピアノ、作曲、指揮の専攻生も単位取得可能な授業として正式に履修できるようになりました。1999 年 11 月には「全日本音楽教育研究会全国大会」の大学部会が本学にて開催する事になり、我がオケ・ブラスが 4 年生を中心に記念演奏をする機会を頂き大変名誉な出来事でした。

そして 2003 年に汐澤安彦先生が音楽教育専攻の主任教授に就任、本授業の指揮も担当して頂けることになりました。（とても嬉しかった）

2006 年になると、カリキュラムの変更に伴い 3,4 年生履修から 2,3 年生に移行するため、水曜日に 3 年吹奏楽、4 年吹奏楽と 3 年管弦楽が同時進行、木曜日に 2 年管弦楽、4 年管弦楽と 2 年吹奏楽が同時進行という、かつてない変則的な授業を展開することになりましたし、合宿は 2,3 年生で実施し、演奏会は 2,3 年生が定期演奏会、4 年生が卒業演奏会となりました。

2007 年は（3 学年からの移行期間 2 年目であるため）水曜日に 3 年吹奏楽と 4 年管弦楽が同時進行、3 年管弦楽と 4 年吹奏楽が同時進行となり、木曜日に 2 年管弦楽と 2 年吹奏楽に固定させ、合宿は 2 年生のみ実施。演奏会は第 35 回「2 年定期演奏会」「3 年修了演奏会」「4 年卒業演奏会」と名称を変更して開催。

2012 年は 40 回目の演奏会を迎えたため、「40 年の歩み」という小冊子を作製し広くこの授業の存在を知ってもらいたい機会になりました。

2013 年以降は長野県信濃町に合宿地が変更され、「黒姫ライジングサンホテル」で 7 年間続けて実施され、信濃町と教育委員会の後援を得て、信濃町立信濃小中学校にて 5,6 年生を対象に「交流演奏会」を開催しました。

2019 年中目黒に新校舎が完成し講座は継続されておりますが、コロナ禍の影響により、授業への影響はもちろんです、合宿は中止となり長く出演してきた芸術祭も開催がままならない状況が続いておりとても残念に思います。今後の本授業の展開を注視していきたいと思っております。

教職課程管弦楽・吹奏楽の半世紀

前 講座責任者
野口芳久

今から 53 年前、東洋音楽大学から東京音楽大学へ改称された時、教職課程管弦楽・吹奏楽の授業は、当時の教育専攻の主任教授勝田栄三郎（1908～1984）先生の構想を学校経営に心血を注いでいらっしやっした野本良平理事長のご理解を得て創設されました。詳しい沿革については別ページに譲るとしますが、主専攻の学生と同じ形態の管弦楽や吹奏楽を音楽大学在学中に講座として受講出来、「合奏」の単位として認定される授業は本学独自の特色ある教職課程の講座の一つで、過去『管弦楽・吹奏楽の集団指導法を身に付けた教員の養成』という講座の成果が認められ、私立大学等経常費補助金・特別補助に採択されました。私は本学卒業後 2 年目から 47 年間の長きにわたってこの授業に関わってくることができましたが、今振り返りますと、大学側のご理解、授業をご担当くださった多くの先生、そして何と言っても数千人に及ぶ当時の履修学生や卒業生に改めて感謝するものです。卒業生から貰う便りはいつでも嬉しいものですが、教職に就かれ、すでに退職された本学の卒業生からの年賀状の数からも、本授業開講の意義が解るというものです。

歴代の指導教員には、専攻生の指導に当たっておられた先生方も多くおいでで、今考えても贅沢な布陣であったと思います。最近の受講学生の音楽力の向上は目覚ましく、取り上げるプログラムだけを見てもその向上ぶりはハッキリと現れており、ここ 20 年間の後援会の深いご理解と戴いたご支援とも相俟って、半世紀前に立ち上げて下さった先生方にも今見て頂くことがあるならばその発展ぶりに驚かれることと思います。

音楽を極めようとする過程では、技術面の向上が不可欠であると同時に、それを可能にする精神的な強さが必要で、しかもその状態が何年間も継続されなければ一人の音楽家としての完成は望めないものです。音楽大学の個々の学生は皆、この過程を経て入学し、4 年間の学生時代でもいわば修行とも言えるこの継続の毎日です。しかしだからこそ主専攻を離れた場所に取って自分を置き、そんな仲間と一時でも普段と異なる経験を一緒に持つことができた授業、教職課程管弦楽・吹奏楽を一言で言うとなればこれに尽きると思います。この活動を通して声楽専攻生は管楽器を手に呼吸のコツを会得し、ピアノ専攻生は弦楽器を手に音色の多様性とボーイングを通してフレーズを掴み、音楽教育専攻生は授業展開から音楽教育の多様性を学び、それぞれ教職の現場に就いた時に児童・生徒に広い教育内容が提供出来るスキルを身に付けた事でしょう。

年間 30 回の授業内容は、決められた行事予定に合わせたもので、授業の発表会であった定期・修了演奏会や芸術祭での演奏会、夏に実施していた夏期強化合宿。器楽専攻生も強化練習を目的としての合宿の実施がありますが、上記の各年間行事の全てを受講学生が企画し更にその運営までさせる点にその違いがあります。20 名に及ぶご指導の先生には楽器のご指導の他にも企画・運営に関わる学生指導の責任者として全員一つ以上その任に当たっていただきました。

私はといえば、夏期強化合宿で慣れない楽器を手に一日 8 時間悪戦苦闘する学生達の喜ぶ顔が見たくて、高原の満天の星空を寝そべって長い間楽しめるように八畳程のシートを用意したり、毎晩剥いて皆に配って歩く梨を、百個近く楽器運搬の荷物に忍ばせたり等、ヨクワカラナイ活動をしたものです。学生の本領は勿論主専攻を究めることと言えるのですが、振り返りますと、むしろそれとは異なる道の模索の推奨を私なりにいつも試みていました。

この授業を受講したことにより生涯の友を得た卒業生も多く見られ、必ずしも教職の現場に限らない卒業後の活躍の様子を耳にする現在、東京音楽大学在学中の 2 年間の本講座の存在意義・目的は十分に達せられていたものと、感慨深いものがあります。

（令和 4 年大学を定年で辞した晩夏「ツクツクボウシ」を耳にしながら）

50周年記念 卒業生インタビュー①

音楽教育専攻 2005年3月卒業
神奈川県横須賀市立武山中学校教諭
清水（島崎）芳絵

Q 管弦楽と吹奏楽どちらを履修していましたか？

A 吹奏楽を履修していました。

Q また、楽器は何でしたか？

A クラリネットでした。

Q 当時の教職課程管弦楽・吹奏楽の様子を教えてください。

A 様々な学科の仲間とともに、和気あいあいとした雰囲気の中で活動していたと思います。合奏の時や演奏会前は、ピリっとした雰囲気の時もあり、メリハリがありました。私は、クラリネット初心者でしたが、クラリネット経験者の仲間や先生方に、丁寧に教えて頂き、楽しく授業を受けることができました。

Q 当時の曲のレパートリーを教えてください。

A 「ゴジラ」や「Pirates of the Caribbean」を演奏したのが印象的です。

Q 教員になられて教職課程管弦楽・吹奏楽はどのように役立っていますか？

A 中学校の教諭になり、吹奏楽部の顧問をしています。私は、ピアノと声楽しか学んでこなかった為、移調楽器やパート譜など初めて知ることばかりで、本当にたくさんのことを学びました。仲間とともに演奏することの楽しさ、演奏会後の達成感も経験することができました。知識や技術だけではなく、部員の気持ちを理解する上でも部活指導でとても役に立っています。

Q 合宿の感想、また、思い出を教えてください。

A 朝から晩まで練習して、初心者の方でも上達を実感しました。また、休憩時間に、先生方やパートの仲間と談話をする時間が楽しく、今まで知らなかった一面を見ることができたのも良い思い出です。

Q 教職課程管弦楽・吹奏楽を教えて下さった先生方へ、メッセージをお願いします。

A 汐澤先生、野口先生をはじめ先生方から、音楽的知識や技術だけでなく、音楽に対する姿勢や人生観などを、吹奏楽の授業を通して学びました。卒業してから、ふとした瞬間に思い出すことがあります。先生方から教えて頂いたことは、私の宝です。本当にありがとうございました。

Q 次に、現在教職課程管弦楽・吹奏楽を履修している学生へメッセージをお願いします。

A 大学で得た知識や技術、経験は、卒業後に様々な場面で生かされます。“今、学べること”“今しかできないこと”を楽しみながら励んでください。

Q 教職課程管弦楽・吹奏楽発足50周年記念ということで、一言をお願いします。

A 50周年おめでとうございます。この素晴らしい教職課程管弦楽・吹奏楽が今後も続き、たくさんの学生が貴重な経験ができることを、切に願っております。

50周年記念 卒業記念インタビュー②

ピアノ専攻 2014年3月卒業
茨城県つくばみらい市立富士見ヶ丘小学校教諭
大島絵里加

Q 管弦楽と吹奏楽どちらを履修していましたか？

A 2年生から管弦楽を履修していました。4年生は本来履修しませんが、教採を受けるにあたり、無理を言って2,3年生と一緒に管弦楽と吹奏楽もやらせていただきました。

Q また、楽器は何でしたか？

A トランペットでした。

Q 当時の教職課程管弦楽・吹奏楽の様子を教えてください。

A 学生同士、和気あいあいと授業に参加させて頂いていました。先生方も気さくでしたので、楽器のことや演奏のことで気軽に相談させて頂いたのを覚えています。他の楽器を体験できる機会もあり、知らない事を発見できる子どもの目線になれて、楽しかったです。

Q 当時の曲のレパートリーを教えてください。

A 特に記憶に残っているのは3年生で演奏した「展覧会の絵」です。記念すべき40回修了演奏会でプロムナードソロという大役を仰せつかり、とても緊張しました。恐らく人生で一番の緊張だったかもしれません。

Q 教員になられて教職課程管弦楽・吹奏楽はどのように役立っていますか？

A 初任校は中学校でしたので、頂いた知識や技能は部活指導に直結しました。楽器の特長や奏法などの専門的な知識を1から学ぶことは大変ですが、教職オケの授業で楽器体験をしてある程度の知識を教えたおかげで指導に役立てることができました。

また、サブインペク・インペクとしての経験が学級経営や学校行事運営に役立っています。一つの行事を実施するためには企画立案・検討・事前準備・周知などのタスクがあり、それらを計画的に進めていく必要があるということを通して学びました。このマネジメントスキルはあらゆる面で応用が可能です。現任校では情報主任として学校全体のICTマネジメントをしています。私に「物事を多面的に捉える」という視点を与えて下さったのは、教職オケだと確信しています。

Q 合宿の感想、また、思い出を教えてください。

A 私たちは妙高高原での合宿でした。星空がとても綺麗でした。

この機会に初めて話をする人もいて、人間関係の輪が広がりました。小学校での訪問演奏で子どもたちが音楽を聴いたり指揮の体験をしたりして喜ぶ姿を見て、自分も嬉しくなりました。運営側としては、しおり作りに苦戦して徹夜したことを覚えています。先生方や仲間の力添えもあり、無事に合宿を終えられて良かったです。

Q 教職課程管弦楽・吹奏楽を教えて下さった先生方へ、メッセージをお願いします。

A ご無沙汰しております。自分が「教師側」になり、かつての先生方のご指導がどのような意図をもっていらっしやっただのか気付く毎日です。私たちにいつも温かく丁寧にご指導してくださいましたが、その当たり前の様な「先生としての姿」を保つのはいかに難しいかを日々痛感しています。同時に、子どもたちが音楽を通して成長していく姿を見守ることができる喜びを味わっています。教職課程管弦楽・吹奏楽を通して学んだことを生かして今後も頑張りたいと思います。

Q 次に、現在教職課程管弦楽・吹奏楽を履修している学生へメッセージをお願いします。

A 学生のうちにやっておけばよかったな…と思うことがたくさんあります。その時にしかできない経験をたくさんしてください。一見すると音楽や教職とは関係ないようなことでも、いつかの自分の糧になります。

Q 教職課程管弦楽・吹奏楽発足 50 周年記念ということで、一言をお願いします。

A 50 周年本当におめでとうございます！

長い長い歴史の一部に関われたことを大変嬉しく思っています。教職オケ・ブラスで学んだことをフル活用して、これからも教員として頑張りたいと思います。

50周年記念 卒業生インタビュー③

声楽専攻 2017年3月卒業
埼玉県三芳町立三芳東中学校教諭
卯木奈津美

Q 管弦楽と吹奏楽どちらを履修していましたか？

A 吹奏楽を履修していました。ただ、他にも色々な楽器の勉強をしたかったため、管弦楽や他学年の講座も履修していました。

Q また、楽器は何でしたか？

A 吹奏楽でクラリネットを3年間、管弦楽でファゴットを3年間、コントラバスを1年間、担当していました。

Q 当時の教職課程管弦楽・吹奏楽の様子を教えてください。

A 学生も先生方も含め楽しく演奏していたと思います。また、プロの先生に教えていただけるので、充実した授業カリキュラムでした。

Q 当時の曲のレパートリーを教えてください。

A 吹奏楽：交響組曲「風の谷のナウシカ」、第5組曲、ナイルの守り、ヴィリアの歌、くるみ割り人形、オーメンズオブラブ、エルクンバンチェロ、旧友、パイオニアーズ等
管弦楽：鍛冶屋のポルカ、新世界より、禿山の一夜、オペラ座の怪人、フィンランディア、未完成、雷鳴と稲妻、アンダンテ、シャコンヌ等

Q 教員になられて教職課程管弦楽・吹奏楽はどのように役立っていますか？

A 私は、現在埼玉県の教員として働き始めて6年目になります。部活動は、吹奏楽部の主顧問として生徒たちを指導しており、埼玉県吹奏楽コンクール西部地区大会Bの部で銀賞1回、銅賞1回の受賞歴があります。指導の際には、当時、教職課程管弦楽・吹奏楽で習ったことを生かし、子どもたちと練習や本番で一緒に吹いて教えることを心がけています。そのことにより、生徒たちとのコミュニケーションを深く取ることができ、信頼関係が育成できるからです。

Q 合宿の感想、また、思い出を教えてください。

A 黒姫高原で最大一週間近く合宿に参加していましたが、朝から晩、場合によっては夜中まで当時の仲間と共にひたすら吹いたことが今でも思い出に残っています。特に、ファゴットは大学の授業で初めて触った楽器だったため、なかなか自分が表現したいように上手く吹けない、ソロが吹けないなど、とても悩んでいた中、先生が常に熱心に見てくださったことは今でも記憶の中に残っております。現在、たまに、車で信濃町を通過することがありますが、通るたびに合宿の楽しかった記憶がよみがえってきます。

Q 教職課程管弦楽・吹奏楽を教えて下さった先生方へ、メッセージをお願いします。

A 私は、先生方にクラリネット、ファゴット、コントラバスの奏法を中心に詳しく指導していただきました。その経験が現在とても役立っています。部活はもちろん、それ以外でも役立っています。それは、鑑賞の授業です。授業の際には、生徒たちの前で、楽曲の中心となる旋律の一部を楽器で生演奏をしています。そのことで、生徒たちに音楽を身近に感じさせています。これも、教職オケ・ブラスで、様々な経験が出来たおかげです。

また、大学を卒業してからも、何か質問をした際には迅速に対応して下さいます。本当に感謝しております。

私の教員生活において、教職オケ・ブラスの経験はあらゆる部分で役立っていると言っても過言ではありません。今後も、教職オケ・ブラスで学んだこと、さらに、東京音大で学んだことを糧に、生徒たちに音楽のすばらしさを伝えていきます。

Q 次に、現在教職課程管弦楽・吹奏楽を履修している学生へメッセージをお願いします。

A 教員をしていると、常に仕事と勉強の日々の繰り返しです。限られた時間の中で音楽以外も含め、色々試行錯誤していかなければなりません。

教科指導面の話になりますが、音楽科は大規模校でない限り、基本は1校につき1名の教員配置です。そうなると、教科の相談は、学校内では出来ない、する相手がいないことがほとんどです。（他教科は数人配置されているのに対しです。）そうなると、学校内を越えて関わっていく必要があります。

ちなみに、私は、運良く、1,2年目は音楽科が二人以上いる学校に配属され、かつ、合唱の世界では全国大会へ何度も生徒を導いたベテランの先生方と一緒に授業をすることが出来ました。当時は、右も左も良く分からず、色々な失敗をたくさんしました。しかし、その都度、相談し、おかげさまで、今の自分を形成できました。

現在、私は音楽科が1人しかいない学校に配属されているため、何かあれば1,2年目に、現場でお世話になった先生方や大学時代にお世話になった先生方に相談にのって頂いております。また、自分より後輩にあたる他校の先生から相談を受けることも多々あり、指導することもあります。横のつながりがとても大切になります。

音楽科にとって学校は、校内に相談できないという意味では、厳しい世界かもしれませんが、やりがいがあります。ぜひ、学生のうちにたくさんの知識を習得し、横の関係を広げ、現場に来てくれましたら嬉しいです。

Q 教職課程管弦楽・吹奏楽発足50周年記念ということで、一言お願いします。

A 教職課程管弦楽・吹奏楽発足50周年記念おめでとうございます。私にとっての教職オケ・ブラスでの授業の日々は大学生活の中で大切な思い出です。ぜひこの先も続いていただけたらと思います。

50周年記念 卒業生インタビュー④

作曲指揮専攻作曲 芸術音楽コース 2018年3月卒業
千葉県立八街高等学校教諭
山本孝

Q 管弦楽と吹奏楽どちらを履修していましたか？

A 吹奏楽（管弦楽も授業には参加）

Q また、楽器は何でしたか？

A ホルン（吹奏楽、管弦楽いずれも）

Q 当時の教職課程管弦楽・吹奏楽の様子を教えてください。

A 非常に多くの学生が参加しており、演奏会や合宿の企画や運営も学生が主体的に行っており、活気がありました。

Q 当時の曲のレパートリーを教えてください。

A ホルスト第二組曲 くるみ割り人形 禿山の一夜 フィンランディア

Q 教員になられて教職課程管弦楽・吹奏楽はどのように役立っていますか？

A 楽器に触れていたことで、その楽器の特性を理解して指導できるようになり、初心者に指導するときも正しい知識を教えることができている

Q 合宿の感想、また、思い出を教えてください。

A 私は吹奏楽でインパクをしており、企画運営に取り組んでいたため、合宿を無事に終えられた時はとても充実感がありました。夜、友達や先生とお酒を飲みながら語りあったのは本当に良い思い出です。

Q 教職課程管弦楽・吹奏楽を教えて下さった先生方へ、メッセージをお願いします。

A 当時の先生方に教えて頂いたことや、運営を通して学んだことが教員として仕事をする上で非常に役に立っています。多くのことを経験させて頂き、感謝の気持ちで一杯です。

Q 次に、現在教職課程管弦楽・吹奏楽を履修している学生へメッセージをお願いします。

A 楽器や音楽のことなどこの授業を通して学べることは勿論ですが、他の専攻の友人たちと音楽に取り組めるのは本当に良い経験になると思いますので、是非一人でも多くの学生にこの授業に参加してもらいたいです。

Q 教職課程管弦楽・吹奏楽発足 50周年記念ということで、一言をお願いします。

A この度は教職課程管弦楽・吹奏楽発足 50周年記念おめでとうございます。今回このような機会に寄稿文を書かせて頂いたことを大変光栄に思います。当時を思い返すと、他の専攻の方達と合奏できるのが毎週楽しみで、時に専攻の勉強そっちのけで練習していたこともありました。振り返ると、演奏会や合宿を通して友人たちと音楽に取り組み、多くの時間を過ごせたことは本当に良い思い出です。そういったことを経験できるのはとても貴重な機会だと思いますので、学生の皆さんは是非この授業にチャレンジしてみてください。又、50周年という節目を迎えることができたのは日頃からこの授業を支えて頂いている先生方のご尽力に他なりません。この授業のより一層の発展を願い、寄稿文とさせていただきます。

歴代指導教員名簿

音楽教育（1973～1983）、教職（1984～1994）、教職課程（1995～）

○ 顧問・代表・責任者

勝田栄三郎（1973～1984）
勝田聰一（1985～1988）
高橋智子（1989～1994）
西澤昭男（1995～1998）
山本敬（1999～2002）
汐澤安彦（2003～2004）
大月玄之（2005）
野口芳久（2006～2021）
加納明洋（2022～）

○ 指揮者

守谷宏（1973～1974）
小川秀樹（1973～1983）
三石精一（1975～1984）
松本紀久雄（1975～1985）
野口芳久（1975～2021）
前原信彦（1983～1988）
田代俊文（1983～2019）
汐澤安彦（2003～2008）
加納明洋（2006～）
米津俊広（2020～2021）
河上隆介（2019～）

○ 木管楽器

フルート

小室圭子（1973～1994）
佐藤晶（1995～1996）
白谷えり（1997）
梅澤敦子（1998～1999）
十河歌織（2000～2001）
竹島未和（2002）
新井道代（2003）
永江真由子（2004）
宮崎千佳（2005）
星沙織（2006）
菊池洋子（2007）
向井理絵（2008）
伊東沙弥香（2009）
山内信英（2010）
木村友音（2011）
田中千晴（2012）
八木ちはる（2013～2014）
白井彩和子（2015～2016）
井畑志保（2017）
坂部雄哉（2018）
東佳音（2019～2020）
大友美月（2021）
永井彩澄（2022～）

オーボエ

梅原美男（1973～1982）
安原理喜（1983～2003）
海上なぎさ（2004～2017）
副田真之介（2018～）

クラリネット

小川秀樹（1973～1983）
青柳治幸（1975～1976）
井田唯司（1977～2019）
小野寺緑（2020～）

サクソフォン

中村均（1985～2010）
蓼沼雅紀（2010～2017）
菊地麻利絵（2018～）

ファゴット

霧生吉秀（1980～2004）
福井蔵（1984）
小松晋一郎（2003）
前関祐紀（2005～2006）
浅井啓太（2007～2014）
本田早紀（2015～2020）
田邊彩乃（2021～）

○ 金管楽器

トランペット

二反田耕治 (1973～1976)
金石幸夫 (1977～1988)
林昭世 (1989～2009)
リックオヴァトン (2010～)
早川奏恵 (2012～2017)
麻生康平 (2018)
伊東優里 (2019～2020)
森山一輝 (2021～)

ホルン

守山光三 (1985～1999,2014)
中原治美 (2000～2001)
岡本充代 (2002～2003)
山本奈奈 (2004～2005)
庄司知世 (2006～2013)
大平紹美 (2015～)

トロンボーン・ユーフォニアム・テューバ

大澤和幸 (1973～)

○ 打楽器

谷田部敬一 (1973～1982)
野口力 (1978～1999)
菅原淳 (1978～1994)
高橋淳子 (1984～1992)
藤本佳子 (1993～1999)
川瀬達也 (2000)
長田和子 (2001.4～7月)
久一忠之 (2001.9月～2002)
中里ゆきの (2003～2005)
小原由紀 (2006～2017)
久保創 (2018)
堀尾尚男 (2019～)
岡田直樹 (2019)
齋藤里菜 (2020～)

○ 弦楽器

ヴァイオリン

内藤温子 (1977～1987)
升谷直嗣 (1980～1984)
井上将興 (1982)
高橋寿子 (1981～1988)
安原明子 (1985～1988)
郷治理恵 (1985)
遠藤茉莉子 (1986～1990)
永井美恵子 (1988)
佐藤良彦 (1989～2010)
安富洋 (1991～1999)
深田洋子 (1991)
河野雪葉 (1999～2000)
柿沼麗子 (2001)
保坂英子 (2002)
荒井智子 (2003～)
横山俊朗 (2011～)
石戸麻季子 (2011)
須原杏 (2012)
大杉那々子 (2013～2017)
伊澤萌音 (2018～)

ヴィオラ

松浦君代 (1973～1976)
三木美香子 (1975～1984)
升谷直嗣 (1984～)

チェロ

V.アダミーラ (1973～1977)
勝田聰一 (1978～2011)
三森未来子 (2012～2014)
上朱可里 (2015～2017)
石貝梨華 (2018～2020)
渡邊ゆかり (2018～2019)
大友美侑 (2021)
伊藤利英子 (2022～)

コントラバス

松本武全 (1973～2008)
丹野敏広 (1982～1984)
幕内弘司 (2009～)

○ 授業補佐

戸治野多賀子 (1977～1989)
福原千恵 (1977～1979)
吉川延子 (1979～1982)
照屋江美子 (1989～2000)

演奏曲目の記録

【第1回～第30回までの主な曲目】

■ 管弦楽

交響曲第94番「驚愕」第2楽章

交響曲第8番「未完成」第1楽章

「アルルの女」第2組曲

「カルメン」第1組曲

交響曲第5番「運命」第1・第4楽章

パヴァーヌ

美しく青きドナウ

組曲「白鳥の湖」

交響詩「フィンランディア」

結婚行進曲

組曲「水上の音楽」より

シンコペーテッドクロック

トランペット吹きの子守歌

クリスマスフェスティバル

ワルツィングキャット

組曲「くるみ割り人形」より

春の海

六段

「夕鶴」より

※ 独唱は音楽教育専攻学生

コラルカンタータ第147番より「主よ人の望みの喜びよ」

ピーターと狼

「ばらの騎士」より

2つのVnの為の協奏曲

流浪の民

交響曲第100番「軍隊」第2楽章

ロザムンデより「間奏曲」

アヴェ・ヴェルム・コルプス

ワルツ「金と銀」

ピアノ協奏曲第26番「載冠式」

※ 独奏は音楽教育専攻学生

威風堂々 第1番

ラデツキー行進曲

鍛冶屋のポルカ

ハイドン

シューベルト

ビゼー

ビゼー

ベートーヴェン

ラヴェル

シュトラウスII世

チャイコフスキー

シベリウス

メンデルスゾーン

ヘンデル

アンダーソン

アンダーソン

アンダーソン

アンダーソン

チャイコフスキー

宮城道雄/勝田聰一編曲

八橋検校/勝田聰一編曲

団伊玖磨

バッハ

プロコフィエフ

シュトラウス

ヴィヴァルディ

シューマン編曲

ハイドン

シューベルト

モーツァルト

レハール

モーツァルト

エルガー

シュトラウスI世

ヨーゼフ・シュトラウス

■ 吹奏楽

吹奏楽の為の民話	コウディル
吹奏楽の為の第1組曲	ホルスト
吹奏楽の為の第2組曲	ホルスト
エルザの大聖堂への行列	R.ワーグナー
イギリス民謡組曲	ウィリアムズ
ジャマイカ民謡組曲	ワルターズ
日本民謡組曲「わらべ唄」	兼田敏
アルヴァマー序曲	バーンズ
ディズニー・メドレー I	岩井直溥編曲
ウェールズの歌	デイヴィス
呪文と踊り	チャンス
喜歌劇「メリーウィドウ」より ヴィリアの歌	レハール/リード編曲
バッカスの行列	ドリーブ
アイ・アム	ボーセン Jr.
小組曲	リード
「レ・ミゼラブル」セレクション	シェーンベルク/バーカー編曲
プスタ	ヴァン・デル・ロースト
光の中に	シェイファー
インヴィクタ序曲	スウェアリンジェン
ばらの謝肉祭	オリバドッティ
「タンホイザー」より 大行進曲	R.ワーグナー
ボレロ	ラヴェル/エリクソン編曲
「詩人と農夫」序曲	スッペ
火の伝説	櫛田朕之扶
コンダクム	ヴァン・デル・ロースト
神々の運命	ライニキー
A列車で行こう	岩井直溥編曲

【第31回以降のプログラム】

【第31回】

3年 定期演奏会 平成15年(2003年)12月11日(木) 東京音楽大学Jスタジオ

■ 管弦楽

アンダンテ	ハイドン
踊る子猫	アンダーソン
歌劇「ジャンニスキッキ」より“私のお父さん”	プッチーニ
シャコンヌ	ヘンデル/勝田聰一編曲
歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より“間奏曲”	マスカーニ
ワルツ「金と銀」	レハール

■ 吹奏楽

エル・キャピタン
主よ人の望みの喜びよ
水平線のかなた
アラジン

スーザ
バッハ/リード編曲
ビーアマン
メンケン

4年 卒業演奏会 平成15年(2003年)12月4日(木) 東京音楽大学Jスタジオ

■ 管弦楽

交響曲第5番「運命」より第1楽章
バレエ音楽「白鳥の湖」より
ポルカ「小さな風車」
スペインのセレナード
ポルカ「雷鳴と稲妻」

ベートーヴェン
チャイコフスキー
ヨーゼフ・シュトラウス
ビゼー
シュトラウス二世

■ 吹奏楽

ボギー大佐
デリー地方のアイランド民謡
バッカスの行列
「オペラ座の怪人」セレクション

アルフォード
グレンジャー
ドリーブ
ウェバー

【第32回】

3年 定期演奏会 平成16年(2004年)12月9日(水) 東京音楽大学B館スタジオ

■ 管弦楽

シャコンヌ
サンドペーパーバレエ
鍛冶屋のポルカ
ラルゴ
「眠れる森の美女」よりワルツ

ヘンデル/勝田聡一編曲
アンダーソン
ヨーゼフ・シュトラウス
ヘンデル
チャイコフスキー

■ 吹奏楽

ワシントンポスト
雷神
アヴェ・ヴェルム・コルプス
バンドの為の民謡
ディズニー・ムービー・マジック

スーザ
スーザ
モーツァルト
コウディル
クリステンセン編曲

4年 卒業演奏会 平成17年(2005年)1月19日(水) 東京音楽大学 B館スタジオ

■ 管弦楽

「カルメン」第1・第2組曲より

ビゼー

タイスの瞑想曲

マスネ

※ Vn 独奏白鳥詩乃

トリッチ・トラッチ・ポルカ

シュトラウス

交響曲第9番「新世界より」第4楽章

ドヴォルザーク

■ 吹奏楽

双頭の鷲の旗の下に

J.ワーグナー

バンドのためのゴジラファンタジー

伊福部昭/和田薫編曲

威風堂々第1番

エルガー

ディズニー・アラウンド・ザ・ワールド

クリステンセン編曲

パイレーツ・オブ・カリビアン

バデルト/リケッツ編曲

【第33回】

3年 定期演奏会 平成17年(2005年)12月8日(木) 東京音楽大学 B館スタジオ

■ 管弦楽

コラールカンタータ第147番より「主よ人の望みの喜びよ」

バッハ

シャコンヌ

ヘンデル/勝田聰一編曲

鍛冶屋のポルカ

ヨーゼフ・シュトラウス

ワルツ「金と銀」

レハール

■ 吹奏楽

士官候補生

スーザ

喜歌劇「メリーウィドウ」より ヴィリアの歌

レハール/リード編曲

小組曲

リード

映画音楽ベスト・ヒット・メドレー

ブラウン編曲

4年 卒業演奏会 平成18年(2006年)1月18日(水) 東京音楽大学 B館スタジオ

■ 管弦楽

舞踏会の美女

アンダーソン

アヴェ・ヴェルム・コルプス

モーツァルト

交響曲第8番ト長調より第4楽章

ドヴォルザーク

■ 吹奏楽

ウィーンはいつもウィーン

シュランメル

スラブ行進曲

チャイコフスキー

たなばた～The Seventh Night of July～

酒井格

【第 34 回】

2 年 定期演奏会 平成 18 年(2006 年)12 月 14 日(木) 東京音楽大学 B 館スタジオ

- 管弦楽
アンダンテ
シンコペーテッドクロック
交響曲第 8 番「未完成」より第 1 楽章
 - 吹奏楽
士官候補生
コラルカンタータ第 147 番より「主よ人の望みの喜びよ」
吹奏楽の為の民話
鳥の人
タイタニック
- ハイドン
アンダーソン
シューベルト
スーザ
バッハ/リード編曲
コウディル
久石譲/磯崎敦博
ホーナー/カスター

3 年 定期演奏会 平成 18 年(2006 年)12 月 13 日(水) 東京音楽大学 B 館スタジオ

- 管弦楽
シャコンヌ
踊る子猫
「アルルの女」第 2 組曲より
 - 吹奏楽
雷神
アヴェ・ヴェルム・コルプス
ノヴェナ
リトル・マーメイド ハイライト
歌劇「トゥーランドット」より
- ヘンデル/勝田聰一編曲
アンダーソン
ビゼー
スーザ
モーツァルト
スウェアリンジェン
メンケン/スウィニー編曲
プッチーニ

4 年 卒業演奏会 平成 18 年(2006 年)11 月 30 日(木) 東京音楽大学 B 館スタジオ

- 管弦楽
ラルゴ
サウンド・オブ・ミュージック
歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より“間奏曲”
交響詩「ローマの松」よりアッピア街道の松
 - 吹奏楽
国民の象徴
吹奏楽のための第一組曲
「レ・ミゼラブル」セレクション
- ヘンデル
ロジャース/ベネット編曲
マスカーニ
レスピーギ
バークレイ
ホルスト
シェーンベルク/バーカー編曲

【第 35 回】

2年 定期演奏会 平成 19年(2007年)12月13日(木) 東京音楽大学J館スタジオ

- 管弦楽
ペルシャの市場にて ケテルビー
シンコペーテッドクロック アンダーソン
シャコンヌ ヘンデル/勝田聡一編曲
- 吹奏楽
士官候補生 スーザ
ノヴェナ スウェアリンジェン
ドレミの歌 星出尚志編曲
のためカンタービレ 小島里美編曲

3年 定期演奏会 平成 19年(2007年)12月12日(水) 東京音楽大学J館スタジオ

- 管弦楽
パイレーツ・オブ・カリビアン バデルト/リケッツ編曲
「カルメン」第1・第2組曲より ビゼー
- 吹奏楽
ビルボード クロール
吹奏楽の為の第1組曲 ホルスト
アメイジング・グレイス 作者不詳/加納明洋編曲
魔女と聖者 ライニキー

4年 卒業演奏会 平成 20年(2008年)1月16日(木) 東京音楽大学J館スタジオ

- 管弦楽
From the Disney World 勝田聡一編曲
歌劇「カヴァレリアススティカーナ」より“間奏曲” マスカーニ
交響曲第9番「新世界より」第4楽章 ドヴォルザーク
- 吹奏楽
国民の象徴 バーグレイ
スラブ行進曲 チャイコフスキー
パイレーツ・オブ・カリビアン ジンマー
レッツ・スイング プリマ/山里佐和子編曲

【第 36 回】

2年 定期演奏会 平成 20年(2008年)12月10日(水) 東京音楽大学J館スタジオ

- 管弦楽
シンコペーテッドクロック アンダーソン
シャコンヌ ヘンデル/勝田聡一編曲
ラデツキー行進曲 シュトラウス I世

■ 吹奏楽

士官候補生
シーゲート序曲
ディズニーランド・セレブレーション

スーザ
スウェアリンジェン
ブラウン編曲

3年 修了演奏会 平成20年(2008年)12月11日(木) 東京音楽大学J館スタジオ

■ 管弦楽

コラールカンタータ第147番より「主よ人の望みの喜びよ」
「オペラ座の怪人」セレクション
交響曲第8番「未完成」より第1楽章

バッハ
ウェバー
シューベルト

■ 吹奏楽

雷神
アヴェ・ヴェルム・コルプス
アルヴァマー序曲
ディズニー・オスカー賞受賞曲メドレー
「くるみ割り人形」より3つのダンス・メドレー

スーザ
モーツァルト
バーンズ
モス編曲
チャイコフスキー/鈴木英史編曲

【第37回】

2年 定期演奏会 平成21年(2009年)12月9日(水) 東京音楽大学J館スタジオ

■ 管弦楽

亡き王女のためのパヴァーヌ
シャコンヌ
交響詩「フィンランディア」

ラヴェル
ヘンデル/勝田聡一編曲
シベリウス

■ 吹奏楽

エル・カピタン
喜びの音楽を奏でて!
「南太平洋」ハイライト
ディズニー・メドレー I

スーザ
スウェアリンジェン
ロジャース/ラング編曲
岩井直薄編曲

3年 修了演奏会 平成21年(2009年)12月10日(木) 東京音楽大学J館スタジオ

■ 管弦楽

亡き王女のためのパヴァーヌ
「アルルの女」第二組曲より
「オペラ座の怪人」セレクション

ラヴェル
ビゼー
ウェバー

■ 吹奏楽

ボギー大佐
パイオニアーズ
風の序曲
ムーアサイド組曲

アルフォード
スパーク
佐藤俊介
ホルスト

【第 38 回】

2年 定期演奏会 平成 22 年(2010 年)12 月 8 日(水) 東京音楽大学 J 館スタジオ

■ 管弦楽

「仮面舞踏会」よりワルツ
シンコペーテッドクロック
シャコンヌ

ハチャトゥリアン
アンダーソン
ヘンデル/勝田聰一編曲

■ 吹奏楽

士官候補生
プロヴェナンス
ターザン
ハイスクールミュージカル 2

スーザ
R.スミス
マンシーナ
ローレンス

3年 修了演奏会 平成 22 年(2010 年)12 月 15 日(水) 東京音楽大学 J 館スタジオ

■ 管弦楽

クラリネット・ポルカ
パイレーツ・オブ・カリビアン
交響曲第 9 番「新世界より」第 4 楽章

プロハスカ/井田唯司編曲
バデルト/リケッツ編曲
ドヴォルザーク

■ 吹奏楽

ナイルの守り
アイガー：頂上への挑戦
「となりのトトロ」コンサート・バンドのためのセレクション
ブラジル：セレモニー・ソング・アンドサンバ

アルフォード
スウェアリンジェン
久石譲/後藤洋編曲
R.スミス

【第 39 回】

2年 定期演奏会 平成 24 年(2012 年)1 月 28 日(土) 東京音楽大学 J 館スタジオ

■ 管弦楽

鍛冶屋のポルカ
シャコンヌ
ワルツ「金と銀」

ヨーゼフ・シュトラウス
ヘンデル/勝田聰一編曲
レハール

■ 吹奏楽

雷神
感謝と喜び
ガリバー旅行記

スーザ
シェイファー
アップルモント

3年 修了演奏会 平成 24 年(2012 年)1 月 28 日(水) 東京音楽大学 J 館スタジオ

■ 管弦楽

交響曲第 8 番「未完成」より第 1 楽章
クラップフェンの森
パイレーツ・オブ・カリビアン

シューベルト
シュトラウス
バデルト/リケッツ編曲

■ 吹奏楽

ツェッペリン伯爵行進曲
アメリカンポートレイト
ディズニーランドの音楽

タイケ
スウェアリンジェン
ブルベーカー編曲

【第40回】

2年 定期演奏会 平成25年(2013年)1月26日(土) 東京音楽大学J館スタジオ

■ 管弦楽

ラデツキー行進曲
シャコンヌ
喜歌劇「天国と地獄」より序曲

シュトラウスI世
ヘンデル/勝田聡一編曲
オッフエンバック

■ 吹奏楽

マンハッタンビーチ
土星：リングの惑星
小組曲

スーザ
ロメイン
リード

3年 修了演奏会 平成25年(2013年)1月26日(土) 東京音楽大学J館スタジオ

■ 管弦楽

パイレーツ・オブ・カリビアン
2つのヴァイオリンの為の協奏曲 BWV104
組曲「展覧会の絵」より

バделト/リケッツ編曲
バッハ
ムソルグスキー

■ 吹奏楽

76本のトロンボーン
双頭の鷲の旗の下で
たなばた～The Seventh Night of July～

ウィルソン
J.ワグナー/グローバー編曲
酒井格

【第41回】

2年 定期演奏会 平成26年(2014年)1月25日(土) 東京音楽大学J館スタジオ

■ 管弦楽

ラデツキー行進曲
シャコンヌ
交響詩「フィンランディア」

シュトラウスI世
ヘンデル/勝田聡一編曲
シベリウス

■ 吹奏楽

士官候補生
管楽器と打楽器のためのセレブレーション
組曲「フェアリーテイル」より 1.前奏曲 4.山姥 5.河童

スーザ
スウェアリンジェン
田嶋勉

3年 修了演奏会 平成26年(2014年)1月25日(土) 東京音楽大学J館スタジオ

- 管弦楽
クラリネット・ポルカ プロハスカ/井田唯司編曲
「アルルの女」第2組曲より
2. 間奏曲 3. メヌエット 4. ファランドール ビゼー
「オペラ座の怪人」セレクション ウェバー
- 吹奏楽
星条旗よ永遠なれ スーザ
吹奏楽のための第1組曲 ホルスト
「レ・ミゼラブル」セレクション シェーンベルク/バーカー編曲

【第42回】

2年 定期演奏会 平成27年(2015年)1月24日(土) 東京音楽大学J館スタジオ

- 管弦楽
鍛冶屋のポルカ ヨーゼフ・シュトラウス
シャコンヌ ヘンデル/勝田聰一編曲
ワルツ「金と銀」 レハール
- 吹奏楽
雷神 スーザ
アイガー：頂上への挑戦 スウェアリンジェン
交響組曲「風の谷のナウシカ」3章 久石譲/森田一浩編曲

3年 修了演奏会 平成27年(2015年)1月24日(土) 東京音楽大学J館スタジオ

- 管弦楽
組曲「道化師」より
2.ギャロップ 3.マーチ 5.パントマイム 8.ガボット 10.エピローグ カバレフスキー
組曲「白鳥の湖」より 情景、4羽の白鳥たちの踊り、スペインの踊り チャイコフスキー
- 吹奏楽
双頭の鷲の旗の下に J.ワーグナー/グローバー編曲
バンドのためのゴジラファンタジー 伊福部昭/和田薫編曲
たなばた～The Seventh Night of July～ 酒井格

【第43回】

2年 定期演奏会 平成28年(2016年)1月30日(土) 東京音楽大学J館スタジオ

- 管弦楽
シャコンヌ ヘンデル/勝田聰一編曲
交響詩「はげ山の一夜」 ムソルグスキー

- 吹奏楽
ワシントンポスト
感謝と喜び
小組曲

スーザ
シェイファー
リード

3年 修了演奏会 平成28年(2016年)1月30日(土) 東京音楽大学J館スタジオ

- 管弦楽
交響曲第9番「新世界より」第4楽章
「オペラ座の怪人」セレクション

ドヴォルザーク
ウェバー

- 吹奏楽
旧友
パイオニアーズ
第5組曲

タイケ
スパーク
リード

【第44回】

2年 定期演奏会 平成29年(2017年)1月28日(土) 東京音楽大学J館スタジオ

- 管弦楽
アンダンテ
トランペット吹きの休日
シャコンヌ

ハイドン
アンダーソン
ヘンデル/勝田聡一編曲

- 吹奏楽
士官候補生
時の流れ
ウェールズの歌

スーザ
スウェアリンジェン
デイヴィス

3年 修了演奏会 平成29年(2017年)1月28日(土) 東京音楽大学J館スタジオ

- 管弦楽
交響曲第7番「未完成」より第1楽章
サンドペーパーバレエ
交響詩「フィンランディア」

シューベルト
アンダーソン
シベリウス

- 吹奏楽
ナイルの守り
イアハート：勇気の響き
喜歌劇「メリーウィドウ」より ヴィリアの歌
「くるみ割り人形」より3つのダンス・メドレー

アルフォード
R.スミス
レハール/リード編曲
チャイコフスキー/鈴木英史編曲

【第 45 回】

2年 定期演奏会 平成 29年(2017年)12月2日(土) 東京音楽大学J館スタジオ

- 管弦楽
シャコンヌ
鍛冶屋のポルカ
サウンド・オブ・ミュージック
ヘンデル/勝田聡一編曲
ヨーゼフ・シュトラウス
ロジャース/ベネット編曲
- 吹奏楽
マンハッタンビーチ
管楽器と打楽器のためのセレブレーション
美女と野獣
スーザ
スウェアリンジェン
真島俊夫編曲

3年 修了演奏会 平成 29年(2017年)12月2日(土) 東京音楽大学J館スタジオ

- 管弦楽
パイレーツ・オブ・カリビアン
クリスマス・フェスティバル
組曲「くるみ割り人形」より
行進曲、トレパック、花のワルツ
バデルト/リケッツ編曲
アンダーソン
チャイコフスキー
- 吹奏楽
ボギー大佐
自由の肖像
吹奏楽のための第2組曲
アルフォード
ライニキー
ホルスト

【第 46 回】

2年 定期演奏会 平成 30年(2018年)11月29日(木) 東京音楽大学A館ホール

- 吹奏楽
士官候補生
センチュリア
イギリス民謡組曲
スーザ
スウェアリンジェン
ウィリアムズ

3年 修了演奏会 平成 30年(2018年)11月29日(土) 東京音楽大学A館ホール

- 吹奏楽
木陰の散歩道
ザイオンの神殿にて
古いアメリカ舞曲による組曲
ゴールドマン
ライニキー
ベネット

2年 定期演奏会 平成30年(2018年)12月1日(土) 東京音楽大学J館スタジオ

■ 管弦楽

ラデツキー行進曲

シュトラウス I 世

シャコンヌ

ヘンデル/勝田聡一編曲

クリスマス・フェスティバル

アンダーソン

3年 修了演奏会 平成30年(2018年)12月1日(土) 東京音楽大学J館スタジオ

■ 管弦楽

喜歌劇「天国と地獄」より序曲

オッフエンバック

創作主題による変奏曲「エニグマ(謎)」より第9変奏ニムロッド

エルガー

交響曲第7番「未完成」より第1楽章

シューベルト

【第47回】

2年 定期演奏会 令和元年(2019年)12月22日(日) 東京音楽大学中目黒・代官山キャンパス TCM ホール

■ 管弦楽

鍛冶屋のポルカ

ヨーゼフ・シュトラウス

シャコンヌ

ヘンデル/勝田聡一編曲

ワルツ「金と銀」

レハール

■ 吹奏楽

輝く翼

佐藤俊介

アイガー：頂上への挑戦

スウェアリンジェン

ディズニー・アラウンド・ザ・ワールド

クリステンセン編曲

3年 修了演奏会 令和元年(2019年)12月22日(日) 東京音楽大学中目黒・代官山キャンパス TCM ホール

■ 管弦楽

パイレーツ・オブ・カリビアン

バデルト/リケッツ編曲

「アルルの女」第2組曲

ビゼー

■ 吹奏楽

ナイルの守り

アルフォード

陽はまた昇る

スパーク

吹奏楽のための第1組曲

ホルスト

【第 48 回】

令和 2 年新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止

【第 49 回】

2 年 定期演奏会 令和 3 年(2021 年)12 月 19 日(日) 東京音楽大学中目黒・代官山キャンパス TCM ホール

■ 管弦楽

アンダンテ

鍛冶屋のポルカ

シャコンヌ

ハイドン

ヨーゼフ・シュトラウス

ヘンデル/勝田聡一編曲

■ 吹奏楽

士官候補生

センチュリア

小組曲

スーザ

スウェアリンジェン

リード

3 年 修了演奏会 令和 3 年(2021 年)12 月 19 日(日) 東京音楽大学中目黒・代官山キャンパス TCM ホール

■ 管弦楽

トリッチ・トラッチ・ポルカ

組曲「白鳥の湖」より

情景、ワルツ、4羽の白鳥の踊り、チャルダッシュ

シュトラウス II 世

チャイコフスキー

■ 吹奏楽

雷神

メインストリート・セレブレーション

陽はまた昇る

「となりのトトロ」コンサート・バンドのためのセレクション

スーザ

ライニキー

スパーク

久石譲/後藤洋編曲

夏期強化合宿の記録

本講座では、それぞれ各自が選択した管弦楽や吹奏楽の楽器を、初めて手にする学生が多く、集中して初期段階の教育を徹底する目的で、夏期休業時にそれぞれ3泊4日の合宿を継続して実施してきました。

年度により履修人数に差があったものの、毎年1学年百数十名が移動して共同生活を体験し、近年では、合宿地近郊で、現地の教育現場(小・中学校)で交流演奏会を持てるまでになりました。

特筆すべきは、合宿当初より旅行や移動に関して旅行会社の手を一切借りる事無く、すべて教員の補助の下、学生の役員が、実施の中心となり、企画・立案・運営をしていることです。この経験は、卒業後教育者となった時「団体をいかに導き、まとめていくか」という問題に対して、生かせるものでしょう。

1973年4月(昭和48年)

音楽教育専攻の学生を対象に教育管弦楽・吹奏楽として本講座が発足

1975年度(昭和50年)

東京音楽大学野尻湖寮合宿(長野県上水内郡信濃町大字野尻 436-20)

1976年度(昭和51年)

神津島へ演奏旅行9月1日(水)～9月4日(土)

☆演奏学生99名で計3回の演奏会を実施し感謝状を授受

1977年度(昭和52年)

3年生 8月26日(金)～8月29日(月) 東京音楽大学野尻湖寮

4年生 8月29日(月)～9月1日(木) 〃

1978年度(昭和53年)

3年生 8月26日(土)～8月29日(火) 野尻湖寮

4年生 8月29日(火)～9月1日(金) 〃

1979年度(昭和54年)

3年生 8月26日(日)～8月29日(水) 野尻湖寮

4年生 8月29日(水)～9月1日(金) 〃

1980年度(昭和55年)

3年生 8月26日(火)～8月29日(金) 野尻湖寮

4年生 8月29日(金)～9月1日(月) 〃

☆54年度卒業生18名も特別に参加

1981年度(昭和56年)

3年生 8月24日(月)～8月27日(木) 野尻湖寮

4年生 8月27日(木)～8月30日(日) 〃

☆55年度卒業生も15名参加

1982年度(昭和57年)		
東京音楽大学軽井沢寮(長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢高瀬沢1347)		
3年生	8月23日(月)~8月26日(木)	
4年生	8月26日(木)~8月29日(日)	軽井沢寮
1983年度(昭和58年)		
3年生	8月24日(水)~8月27日(土)	軽井沢寮
4年生	8月27日(土)~8月30日(火)	”
1984年度(昭和59年)		
3年生	8月24日(金)~8月27日(月)	軽井沢寮
4年生	8月28日(火)~8月31日(金)	”
1985年度(昭和60年)		
2年吹奏楽	7月25日(木)~7月28日(日)	軽井沢寮
2年管弦楽	7月28日(日)~7月31日(水)	”
3年生	8月27日(火)~8月30日(金)	”
☆2, 3, 4年履修		
1986年度(昭和61年)		
2年管弦楽	8月1日(金)~8月4日(月)	軽井沢寮
3年管弦楽	8月5日(火)~8月8日(金)	”
3年吹奏楽	8月24日(日)~8月27日(水)	野尻湖寮
2年吹奏楽	8月28日(木)~8月31日(日)	”
1987年度(昭和62年)		
3年管弦楽	8月1日(土)~8月4日(火)	軽井沢寮
2年管弦楽	8月5日(水)~8月8日(土)	”
2年吹奏楽	9月1日(火)~9月4日(金)	”
3年吹奏楽	9月5日(土)~9月8日(火)	”
1988年度(昭和63年)		
2年生	8月28日(日)~8月31日(水)	軽井沢寮
3年生	9月1日(木)~9月4日(日)	”
1989年度(平成元年)		
3年管弦楽	8月25日(金)~8月28日(月)	軽井沢寮
3年吹奏楽	8月29日(火)~9月1日(金)	野尻湖寮
☆2, 3年履修から3, 4年履修に移行		
1990年度(平成2年)		
3年管弦楽	8月25日(土)~8月28日(火)	軽井沢寮
3年吹奏楽	8月29日(水)~9月1日(土)	”
1991年度(平成3年)		
3年管弦楽	8月29日(木)~9月1日(日)	軽井沢寮
3年吹奏楽	9月2日(月)~9月5日(木)	”

1992 年度(平成 4 年)		
3 年管弦楽	7 月 24 日(金)~7 月 27 日(月)	野尻湖寮
3 年吹奏楽	7 月 28 日(火)~7 月 31 日(金)	〃
☆軽井沢寮閉鎖に伴い野尻湖寮の使用を再開		
1993 年度(平成 5 年)		
3 年吹奏楽	8 月 24 日(火)~8 月 27 日(金)	野尻湖寮
3 年管弦楽	8 月 27 日(土)~8 月 31 日(火)	〃
1994 年度(平成 6 年)		
3 年管弦楽	8 月 25 日(木)~8 月 28 日(日)	野尻湖寮
3 年吹奏楽	8 月 29 日(月)~9 月 1 日(木)	〃
1995 年度(平成 7 年)		
ホテルジャパン志賀(長野県下高井郡山ノ内町志賀高原一の瀬)		
3 年生	9 月 7 日(金)~9 月 10 日(月)	
☆野尻湖寮閉鎖に伴い志賀高原の音楽団体の受入経験が豊富なホテルに移行 管弦楽・吹奏楽を同時期に実施		
1996 年度(平成 8 年)		
3 年生	9 月 6 日(金)~9 月 9 日(月)	ホテルジャパン志賀
1997 年度(平成 9 年)		
3 年生	9 月 6 日(土)~9 月 9 日(火)	ホテルジャパン志賀
1998 年度(平成 10 年)		
3 年生	9 月 6 日(月)~9 月 9 日(木)	ホテルジャパン志賀
1999 年度(平成 11 年)		
3 年生	9 月 6 日(水)~9 月 9 日(土)	ホテルジャパン志賀
☆4 年生が全日本音楽教育研究会全国大会大学部会で記念演奏 (本学 J スタジオ 11 月 11 日)		
2000 年度(平成 12 年)		
3 年生	9 月 6 日(水)~9 月 9 日(土)	ホテルジャパン志賀
2001 年度(平成 13 年)		
3 年生	9 月 6 日(木)~9 月 9 日(日)	ホテルジャパン志賀
2002 年度(平成 14 年)		
国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町 3-1)		
3 年生	9 月 8 日(日)~9 月 10 日(火)	
☆一般宿泊施設で 7 年間実施したが予算軽減のため合宿地を変更		
2003 年度(平成 15 年)		
3 年生	9 月 6 日(土)~9 月 9 日(火)	国立オリンピック記念青少年総合センター
2004 年度(平成 16 年)		
3 年生	9 月 6 日(月)~9 月 9 日(木)	国立オリンピック記念青少年総合センター

2005 年度(平成 17 年)

ホテルアルペンブリック(新潟県妙高市池の平 2452)

3 年生 9 月 6 日(火)~9 月 9 日(金)

☆教育効果を重視し使用に関する制約が少ない一般施設に合宿所を変更
妙高高原中学校で演奏

2006 年度(平成 18 年)

2 年生 9 月 3 日(日)~9 月 6 日(水) ホテルアルペンブリック

3 年生 9 月 6 日(水)~9 月 9 日(土) //

☆2, 3, 4 の 3 学年履修

卒業年次である 4 年生は授業内容に制限が多く出席率にも影響が出てきたため 3, 4 年次から 2, 3 年次に履修を移行

移行期間として 2, 3, 4 年履修を 2 年間実施し初年度合宿は 2 学年分実施
妙高高原中で吹奏楽部員への実技指導を実施

2007 年度(平成 19 年)

2 年生 9 月 2 日(日)~9 月 5 日(水) ホテルアルペンブリック

☆予算軽減のため夏期強化合宿の対象を初年度である 2 年生 1 学年のみに限定
妙高高原中学校で演奏

2008 年度(平成 20 年)

2 年生 9 月 6 日(土)~9 月 9 日(火) ホテルアルペンブリック

☆移行期間が完了し 2, 3 年の履修に変更

2009 年度(平成 21 年)

2 年生 9 月 3 日(木)~9 月 6 日(日) ホテルアルペンブリック

2010 年度(平成 22 年)

2 年生 9 月 1 日(水)~9 月 4 日(土) ホテルアルペンブリック

3 年生 9 月 4 日(土)~9 月 7 日(火) //

☆学生の強い希望と後援会の後押しにより大学側の理解が得られ、以前同様の
2, 3 年生 2 学年での合宿が実現

妙高高原北小学校で演奏

2011 年度(平成 23 年)

2 年生 9 月 1 日(木)~9 月 4 日(日) ホテルアルペンブリック

3 年生 9 月 4 日(日)~9 月 7 日(水) //

☆古間小学校で演奏

2012 年度(平成 24 年)

2 年生 9 月 1 日(土)~9 月 4 日(火) ホテルアルペンブリック

3 年生 9 月 4 日(火)~9 月 7 日(金) //

☆妙高高原南小学校で演奏

2013年度（平成25年）

黒姫ライジングサンホテル（長野県上水内郡信濃町大字野尻瑞穂 3807-5）

2年生 9月1日(日)～9月4日(水) 黒姫ライジングサンホテル

3年生 9月4日(水)～9月7日(土) 〃

☆長野県信濃町黒姫で合宿を実施

2014年度（平成26年）

2年生 8月31日(日)～9月3日(水) 黒姫ライジングサンホテル

3年生 9月3日(水)～9月6日(土) 〃

2015年度（平成27年）

2年生 8月30日(日)～9月2日(水) 黒姫ライジングサンホテル

3年生 9月2日(水)～9月5日(土) 〃

2016年度（平成28年）

2年生 8月28日(日)～8月31日(水) 黒姫ライジングサンホテル

3年生 8月31日(水)～9月3日(土) 〃

2017年度（平成29年）

3年生 8月27日(日)～8月30日(水) 黒姫ライジングサンホテル

2年生 8月30日(水)～9月2日(土) 〃

2018年度（平成30年）

3年生 9月2日(日)～9月5日(水) 黒姫ライジングサンホテル

2年生 9月5日(水)～9月8日(土) 〃

2019年度（平成31年/令和元年）

3年生 9月1日(日)～9月4日(水) 黒姫ライジングサンホテル

2年生 9月4日(水)～9月7日(土) 〃

2020年度（令和2年）

3年生 9月1日(火)～9月4日(金) 黒姫ライジングサンホテル

2年生 9月4日(金)～9月7日(月) 〃

☆新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止

2021年度（令和3年）

3年生 8月31日(火)～9月3日(金) 黒姫ライジングサンホテル

2年生 9月3日(金)～9月6日(月) 〃

☆新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止

2022年度（令和4年）

☆新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止

編集後記

50周年記念冊子発刊にあたり、最も貢献した先生を、ここにお二人挙げたいと思います。

まず、個々の文章を精査し、完璧な校正を成し遂げてくださいました大澤和幸先生です。大澤先生は今年度で定年退職を迎えます。当授業発足当時から関わってこられた唯一の先生で、数々の足跡を残されており、最後の足跡がこの記念冊子発刊の文章校正というのも、まさしく当授業と共に歩まれてきた大澤先生ならではの献身的な仕事であります。

もうお一方はヴァイオリン担当の荒井先生です。荒井先生は40周年記念冊子発刊に際しても、編集作業を含む総合的なレイアウト関係をお引き受けいただきました。今回も前回に引き続き同様の作業を一手にお引き受けくださり、ご自身のプライベートな音楽活動の合間を縫って、多くの時間をこの作業に費やしていただきました。

あらためて、大澤先生、荒井先生に心より感謝の意を表します。

執筆者 加納明洋